



発行:新しいステージの神戸をつくる会
Oct. 2022 第17号

651-0084
神戸市中央区磯辺通4丁目2番26号 新芙蓉ビル内

TEL:078-222-0155
FAX:078-222-0166

Vol
17

KOBE 上昇気流

コロナを乗り越え 未来へ
～海と山が育むグローバル貢献都市の実現～



みなさまのご支援により、3期目の市政を担わせていただ
いてから、まもなく1年が経過しようとしています。これまで
のご支援ご協力に、心から御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症によって、私たちの生活が大
きく変わった状況が続いています。市民のみなさまのご協
力を頂きながら、感染拡大の防止をはかるとともに、社会経済
活動をこれまでどおり続けられるよう対処してまいりました。

一方で、まちの魅力を高めて、活力を生み出す取組みが
徐々に姿を現してきました。三宮周辺では、東遊園地に図
書館「こども本の森 神戸」、中央区新庁舎と文化センター、
磯上体育館、KIITOには三宮図書館が完成しました。JR
も新駅ビルの建設を発表したところです。

また、名谷、西神中央、垂水、鈴蘭台といった主要駅でも
駅周辺の再整備を進めています。里山や海辺といった自然
環境を含めた各地域の特性を生かしながら、住み続け
たい、住みたくなる、そう感じられる街にしていきたいと思
います。

裏面では、これらをはじめ、この1年の主な取組みを紹介
させていただきます。これからも、神戸市政へのご支援をよ
ろしくお願い申し上げます。

令和4年10月

ひさもと きぞう
神戸市長 久元喜造

この1年間の主な取り組み

令和4年1月

脱炭素への取り組み(ブルーカーボン、カーボンニュートラルポート)



12日 海中の海藻などによって吸収された二酸化炭素(CO₂)は、「ブルーカーボン」と呼ばれています。神戸空港の護岸は緩やかな傾斜を持つ藻類が育ちやすい構造になっています。この浅瀬に生える海藻のCO₂の吸収量に応じてカーボンクレジットを発行し、これを企業が購入できる枠組みの構築を目指しています。

一方で神戸港では、液化水素をオーストラリアから専用船で運んで、神戸空港島で陸揚げする取り組みを進めています。さらに、港で使用する機械や車両に燃料電池を利用することなどで、CO₂を排出しない「カーボンニュートラルポート」を進めています。

令和4年2月

新型コロナ

自宅療養フォローアップセンターの開設と運営

4日 2022年1月からオミクロン株の感染が全国的に拡大しました。市内でも感染者が増えると、各区役所の保健センターへの電話が急増して、一時はとてつなかりにくい状況に陥りました。そこで、自宅で療養している患者が不安になったときに相談できるように、「自宅療養フォローアップセンター」を開設しました。市役所の各部局から最大で150人の職員を確保して対応にあたりました(後に一部を委託)。専門的な判断が必要であることから保健師も常駐しています。9月からは24時間体制としています。



令和4年3月

ウクライナへの支援



1日~ ロシアによるウクライナ侵攻によって、市内には46世帯75名(8月末現在)のウクライナの方が避難してきています。新長田にある神戸国際コミュニティセンター(KICC)に相談窓口を設置し、「神戸ウクライナ支援募金」を受け付けることで、避難してきた方々の日々の生活を支援しています。

また、神戸で仕事を見つけられるように、避難者を雇うことに関心がある企業への説明会を神戸商工会議所とともに開催しました。さらに、児童・生徒たちに学習の機会を提供できるよう、市内の国際学校で無料での受け入れをして頂いています。

東遊園地に図書館「こども本の森 神戸」完成

25日 建築家の安藤忠雄さんが設計・建設した図書館「こども本の森 神戸」が、オープンしました。同氏から市は寄贈を受けました。本の貸し出しはありませんが、館内だけでなく東遊園地で本を読めるスタイルです。



阪神・淡路大震災の記憶を詩の朗読で次世代に引き継いできた俳優の竹下景子さんが名誉館長に就任。館内に並べる本の寄贈や運営資金の募金を市民や事業者に求めたところ、約2万冊の本と1億5千万円を超える寄付金が集まりました。

令和4年4月

垂水体育館 完成



1日 垂水駅の北側にあった「市立垂水体育館」の老朽化に伴い、駅の東側の海沿いにある「垂水スポーツガーデン」内に新しい体育館がオープンしました。

この体育館では、スポーツをしているときの熱中症対策として空調を完備させ、床には膝や腰に負担になりにくい木材などを使っています。

令和4年7月

神戸市立青少年科学館プラネタリウムのリニューアル

3日 ポートアイランドにある青少年科学館のプラネタリウムが18年ぶりにリニューアルしました。最新鋭の投影機が導入され、本物の星空とほとんど変わらない映像をドーム型のシアターで見ることができます。



自治体のプラネタリウムでは国内初となる、寝ころびながら映像が見られるリラックスシートを導入。日常から離れた空間をくつろぎながら感じられるようになりました。また、市内の小学生が天文学習に親しみを感じられるように、神戸市立の小学校と義務教育学校の164校の運動場から見た星空の再現もできます。

「広報紙KOBE」デジタル版 公開



19日 市内の全世帯に配布してきた広報紙KOBEを、今年の8月号から完全にスマホ対応させたデジタル版広報紙としてウェブ上に公開しました。

デジタル版は紙面版に較べると少し早く記事を見ることができます。これまでの紙の紙面では、印象に残りやすい動画や音声が使えなかったのですが、デジタル版では動画コンテンツも増やしていく予定です。

令和4年9月

神戸空港の「国際化」が決まりました

18日 神戸空港は、関西3空港懇談会で、関西国際空港・伊丹空港を補完する役割として、2025年に国内線の発着回数を1日あたり最大120回、また国際チャーター便の運航、2030年前後には1日あたり最大40回の国際定期便の運航を目指すことが認められました。

公式Webサイトを
ご覧ください

久元きぞう 上昇気流 検索



メールマガジン
をお読みください



随時、日々の情報を市長自らが
発信しています!!

Instagram



ブログ



久元市長に対する支援の輪を広げましょう。

後援会ではあなたのご入会をお待ちしています。

既に会員の方は、新たに会員になっていただける方をご紹介します。

ご連絡は

①お電話で 078-222-0155

又は

②ネットで 久元きぞう

検索

